

事例 15

情報発信

～ 地域づくりの活動を行う人が交流する場をつくろう！ ～

【戸塚区事例】「地域づくりのための情報誌 Crew」(平成 29 年 9 月開設)

団体紹介

- ・団体名：とつか楽しい地域づくり Crew
- ・活動者の受講年度：平成 28 年度（第 3 期生）
- ・メンバー数：7 名（世話人）
- ・活動実績：令和 2 年度は情報誌 Crew を 1 回発行（通常年 4 回）
- ・活用制度：情報誌 Crew 発行のための補助金



地域づくりのための情報誌 Crew

活動内容

「戸塚区地域づくり大学校」の受講生 3 期生 2 名が、「夢プラン実現のための仲間づくりをしたい」「講座終了後もつながりを持ち続けたい」「各自が行っている活動の仲間づくりをしていきたい」という思いから、OB 会設立を提案しました。そして、講座終了後に 1 期から 3 期の代表者が集まり検討を行いました。その結果、平成 29 年 9 月に戸塚区地域づくり大学校 OB 会を立ち上げることになりました。

その後、OB 会という名称だと関係者以外活動に参加できないイメージになってしまうことから、会の名称を「とつか楽しい地域づくり Crew (以下 Crew)」という名称に変更をし、現在に至っています。

Crew の主な活動は、戸塚区地域づくり大学校のカリキュラムを取り入れたまち歩き企画、SDGs 講座の企画運営、とつかお結び広場（※）への参加です。

情報誌 Crew は、これらの活動を広報するとともに、仲間を増やすべく、年間 4 回（5 月・8 月・11 月・2 月）発行しています。

紙面は、区内の活動団体の紹介をはじめ、自治会・町内会、連合会に関するコラムや「～地域づくりに SDGs の視点を～住み続けられる街を目指して」をテーマとした記事など、地域での様々な取組や情報を掲載しています。令和 2 年 5 月には「臨時号 コロナに負けるな!」を発行し、コロナ禍で様々な制約がある中、地域の活動を行うポイントについて記事を書きました。

現在、緑区や神奈川区の地域づくり大学校メンバーと協力をし、市内の地域活動の情報発信のハブになるべくホームページ（よこはまエンパワメントジム・ホームページ）を立ち上げ、活動を行っています。

（※）「とつかお結び広場」は、戸塚を中心にボランティアや生涯学習、市民活動をしている団体や個人の方が、日頃の活動をわかりやすく紹介するイベントです。